

日本、初の8強

1次リーグ全勝



ラグビーの第9回ワールドカップ(W杯)日本大会は13日、日本が横浜国際総合競技場でスコットランドと

1次リーグA組最終戦を行い、28-21で勝った。日本は1次リーグ4戦全勝でA組1位となり、初の決勝トーナメント進出(8強入り)を決めた。日本は20日、東京スタジアムで過去優勝2度の南アフリカとの準々決勝に臨む。▼10・11面Ⅱ試合詳報、30面Ⅱファン歓喜
日本は前半6分にトライ

を取られたが、同17分に松島幸太朗がトライを奪い、その後のゴールも決まって同点。前半25分には、稲垣啓太の大会初トライで勝ち越しに成功。前半39分にも福岡堅樹がトライを奪い、前半を21-7で折り返した。後半開始早々にも福岡が再びトライを奪って突き放し、スコットランドの猛反撃をしのいで逃げ切った。
第1回大会から連続出場している日本のW杯通算成績は8勝22敗2分け。